

4 タワヤモリ
Gekko tawaensis

(ヤモリ科)

兵庫県ランク:B
環境省ランク:NT

種の概要

日本の固有種で、本州と九州の瀬戸内海に面した地域と瀬戸内海に浮かぶ島々、及び四国の沿岸地域に分布。崖などの岩場とその周辺に生息する。成体は雌雄とも頭胴長50～63mmで、破損していない尾もほぼ同じくらいの長さ。胴部や四肢の背面の鱗は細かく、結節状の大型鱗が混じらない。側肛門疣は単一の大型で厚みのある鱗から成る。



県内における生息状況及びその他特記事項

淡路島南部の海岸の岩場や周辺の廃屋には比較的高密度で見られる。同島中部や姫路市の海岸近くにも見られるが、工事等による生息に適した場所の縮小が見受けられる。さらに人為的に手を加えられた場所にはニホンヤモリが高頻度で見られ、餌や隠れ場所をめぐりタワヤモリと競合していることも考えられる。

写真提供:市川 隼平

保護上の留意点

海岸の近くに雨水が染み込まず、冬季に越冬に使える深い割れ目のある岩場があることが、生息に不可欠な条件と考えられ、こうした生息環境を残してゆくことが保護上の留意点と考えられる。

県内分布

姫路市、洲本市、南あわじ市

【執筆者】太田 英利

主要な選定理由

人為性	激減	△
	環境	○
	捕獲	
	遺伝	
特殊性	特殊	○
	孤立	
学術性	極限	
	限界	△
	希少	△

